

令和元年度第1回伊勢市市民公益活動促進委員会 記録

〔日 時〕 令和元年 7 月 25 日（木）午後 2 時 30 分～4 時 00 分

〔場 所〕 伊勢市役所東庁舎 5 階会議室

〔出席委員〕

委員長 板井 正斉 氏（皇學館大学 教育開発センター准教授）
副委員長 藤岡 喜美子 氏（特定非営利活動法人
市民フォーラム 21・NPOセンター 事務局長）
秋山 則子 氏（NPO法人三重みなみこどもネットワーク 理事長）
川合 正良 氏（社会福祉法人伊勢市社会福祉協議会 地域福祉課長）
丸山 美幸（伊勢市環境生活部 市民交流課 副参事）

【いせ市民活動センター指定管理者】

増川 尚男（特定非営利活動法人 いせコンビニネット 事務局長）
西川 恒夫（ ” ” いせ市民活動センター長）

【事務局】

木村 扶美夫（市民交流課 課長）
上村 静香（市民交流課 市民交流係長）
長岡 聖也（市民交流課 職員）

<議題：令和元年度いせ市民活動センターの管理運営状況について>

（1）いせ市民活動センターの管理に関する業務の収支決算書について

①収支面について

委員 収支面で少し赤字であったが運営状況はどのような状況か？
センター 今年はいせセンターは人件費が増加した。
指定管理期間である 3 年間を通してトータルで見ると赤字ではない。

②人件費について

委員 人件費の記載が曖昧である。給与と各種保険料等は分けて記載すること。
公益性の高い活動であるので人件費はきちりと記載しないと行けない。
運営をしていく上で人件費管理や労務管理は重要である。

(2) 平成 30 年度いせ市民活動センター事業報告書（事業毎報告）について

①情報発信等の広報事業について

委員 広報掲載記事中の休眠預金の活用の説明が不適切である。休眠預金とは市民活動団体の困りごとのためではなく、地域の課題解決のために搬出される資金である。専門知識に関わる内容は専門家に相談すべき。

②チラシコンテストについて

委員 チラシコンテストは第 1 回目の成果としては十分である。
チラシは成果物であるので、センター内で展示してみてもどうか。より参加者にやりがいを感じてもらえる。
これからはチラシコンテストの継続性及びまちづくり協議会を中心に一般の方も幅広く参加できる仕組みを考えていくべき。

(3) その他

①貸館業務について

委員 伊勢市の貸館施設の中でいせ市民活動センター北館は使用料が高く、施設設備が古く使いづらい。いせトピア等の他の施設に比べ競争力がない。

センター 現在約 40 団体が 10 年以上継続して使用していただいている。

委員 競争力がないという意見がでたが、使用料を安くする等の改定は可能なのか。

市 使用料は条例で上限を定めているが、指定管理者はその範囲内で料金を決めることができる。ただ、今の使用料による収入を前提に指定管理料を見積もって基本協定を締結しているので、使用料を安くすると指定管理者側に影響が出る。

委員 他の指定管理施設の稼働率はどのような状況か？

市全体で総合的に考えていくべき。

委員 使用料等が高く、施設が古いのなら、工夫の努力を見せてほしい。例えば、北館 1 F の通路部分をパーテーションで区切れば、貸室が増える。部屋の表示をカラー分けして見やすくするなどの、工夫次第で印象や使い勝手は良くなる。

②これからの市民活動について

委員 センターの登録団体はもちろん、市のまちづくり活動全般においても、高齢化が進んできており、このままでは伊勢市の活動が尻すぼみになるのではないかと危惧している。

委員 センターの登録団体については、活動をやめた要因や理由を把握できると良い。そこに改善のヒントがある。

委員 若者の参加はどこも課題である。市民が当事者になるような仕掛けを考えていくべき。例えば、春日井市では子育て団体に受付を任せるところ、その団体もステップアップし、子育て世代の活動が活発化した。子育て以外の市の課題にも興味を持つようになった。役割を持つてもらったことが良かった。参考になるのでは。

委員 県内でも、川越町や朝日町でもスタッフも子育て中の人がついていた。調べてみては。

③事業や施設に関する満足度調査について

委員 センター事業に関する満足度調査を試みるのはどうか？

調査を元にニーズに応えた事業を企画できる。

センター 以前に登録団体にはアンケートを行い、駐車場が少ない等のご意見をいただいた。また、いただいたご意見は機関紙パルティに掲載した。

委員 初めて利用される方にもアンケートしてみるべき。

委員 伊勢市のすべての施設を対象とした満足度調査を、市民アンケートなどの機会に設定してみてはどうか。

以上閉会